

としょかんNEWS 第84号



2014年3月6日
湘北短期大学図書館

卒業生の図書館利用について

● 卒業後も図書館が利用できます！！

「卒業後も湘北の図書館を利用したい」というみなさんのご要望にお応えして、湘北短期大学図書館では卒業生へのサービスを行っています。

- ◎ 学生時代に使い慣れた図書館を卒業後も利用したい
- ◎ 保育や教育の現場で、実技書や絵本・紙芝居を活用したい
- ◎ 仕事でのスキルアップや資格取得を目指して勉強したい

そんなときは、ぜひ湘北の図書館を活用してください。



図書館メールアドレス

● 図書館を利用するにはどうしたらいいの？

図書館の利用を希望される場合には、まず下記の内容をご連絡ください。
連絡方法は、電話・メール・FAX いずれでもかまいません。

- | | | |
|--------|------------------|----------|
| ① 氏名 | ② 学生番号または入学年度と学科 | ③ 利用希望日時 |
| ④ 利用内容 | ⑤ 連絡先 | |

初回利用時には、身分を証明するもの(身分証明書、運転免許証、保険証、パスポートなど)をお持ちください。カウンターで「図書館登録カード」に記入し、ご提出ください。図書館利用者カードを発行いたします。図書館利用者カードは、正門通行証と兼用になりますので、図書館をご利用の際には必ず携行するようにしてください。

利用案内

- | | |
|--------|--------------------------------------|
| ・貸出冊数 | 図書・雑誌 10冊 CD 2枚 |
| ・貸出期間 | 1カ月。ただし、必要に応じて返却期限以前に返却を依頼することもあります。 |
| ・返却方法 | 原則として持参。ただし、郵送も可。 |
| ・有効期限 | 発行年度末。以後、希望があれば1年更新。 |
| ・登録料 | 無料 |
| ・ペナルティ | 返却日から起算して延滞した日数が経過するまで、新たな貸出はできません。 |
| ・紛失等 | 現物あるいは相当額をもって弁償していただきます。 |
| ・その他 | 利用規則が守られない場合には、利用を取り消すことがあります。 |

● マイライブラリを活用しよう

図書館のWebサービス“マイライブラリ”をぜひご活用ください。「今、借りている図書は何冊？返却日はいつ？」「貸出期間の延長がしたい」「図書の予約をしたい」そんなときに、便利なサービスです。卒業後も引き続き利用することができます。



くわしくはホームページでご案内しています。
<<http://www.shohoku.ac.jp/library/>>

今年度の多読賞を発表します！

2013年度に図書館で最も多く図書を借りた方を発表します！授業の課題・レポートや就職活動に役立つ本はもちろん、趣味・文芸書・実用書・ガイドブックなど、日常生活に役立つ本も多く利用されています。貸出回数の多かった図書のランキングは追って発表する予定です。これからも幅広く図書館をご活用ください！

今回、多読賞にランクインした図書館ヘビーユーザーの皆さんから、リクエストを受け付けることにしました。リクエストいただいた図書1冊および視聴覚資料1本を図書館で購入し、展示コーナーで紹介したいと思えます。

● 貸出冊数ランキング

<1年生>

情報メディア学科

1	T・Aさん	45
2	N・Hさん	38
3	T・Oさん	33

総合ビジネス学科

1	H・Sさん	84
2	A・Tさん	35
3	M・Sさん	28

生活プロデュース学科

1	K・Dさん	34
2	M・Kさん	31
3	R・Oさん	29

保育学科

1	W・Iさん	75
2	Y・Kさん	69
3	M・Sさん	68

<2年生>

情報メディア学科

1	H・Tさん	135
2	Y・Aさん	53
3	Y・Mさん	51

総合ビジネス学科

1	A・Yさん	25
2	K・Sさん	21
3	M・Nさん	19

生活プロデュース学科

1	C・Hさん	21
2	R・Aさん/A・Iさん A・Kさん	14

保育学科

1	H・Yさん	64
2	E・Hさん	62
3	C・Oさん	52

<教職員>

教員

◎	1	Y・T先生	312
	2	H・O先生	150
	3	Y・K先生	113

職員

1	H・Tさん	80
2	J・Tさん	75
3	M・Oさん	72

<卒業生>

1	Y・Mさん	93
2	T・Hさん	54
3	M・Hさん	53

(集計期間：2013年4月～2014年1月)

多読賞のY・T先生おめでとうございます！
やはり先生方はたくさん図書を読まれているようです。
卒業生にも図書館が活用されている様子がありました。
在学生の皆さんは学生時代たくさん本を読んで読書ノートに挑戦しよう！



私達は、身の回りのものや道具を、「これは使いやすいな」、「これは不便だな」といった印象を持ちながら利用している。例えば、バッグや靴を買いに行くときと想像してみよう。そして、自分にとって気になるものが見つかったとき、購入の決め手は何になるのかを考えてもらいたい。まず、値段が手頃かどうかは重要かもしれない(少なくとも私はそうである)。しかし、そういった懐事情だけではなく、色や素材が気に入るかどうかが、機能的に使いやすいかどうかなど様々なことを総合的に判断して購入することが多いはずである。

ここで、普段はあまり考えたことがないかもしれないが、作り手の視点、つまりデザイナーの視点を想像してみよう。あなたがバッグや靴のデザイナーだとしたら、自分の作っている製品が売れるためにはどうすれば良いだろうか。一生懸命に「買って下さい」とお客さんに懇願しても、なかなか購入してもらえないだろう。見た目の美しさや個性だけを主張しても、注目されることは難しい。結局作ったものが売れなければ、「折角作ったのに何で誰も買ってくれないんだ」と憤慨し落胆するに違いない。

実際に商品を販売すると分かることだが、上記のバッグや靴の例でいえば、色や素材、機能、

値段などが、お客さんの要望(ニーズ)に合うと判断されたときにはじめてお金が投げられる。つまり、デザイナーにとって、作るための技術を磨くことも大事だが、利用者(ユーザー)が見ている視点や感じているものを検討することも重要である。

以上に関係する書籍として、D・A・ノーマン著『誰のためのデザイン?—認知科学者のデザイン原論』(新曜社、1990年)を紹介したい。ノーマンは、アメリカの著名な認知科学者である。この書籍でノーマンは、私達の身の回りにある様々なデザインを例示しながら、デザイナーは独りよがりのデザインではなく、ユーザーのためのデザインを検討するべきであるということをはっきりやすく解説している。

この書籍は、必ずしもデザイナーを志す者だけの読み物ではない。社会人になる全ての人に読んでもらいたいと思っている。なぜなら、私達の生活や仕事など様々なところで適用できる考え方であるからだ。「もし相手ならどう思うか、そして、それに対して自分はどう取り組めばよいか」という社会人として必要な心構えを、この書籍からデザインを通して学ぶことができるだろう。

【連載】館長閑話(5) 教科書の歴史研究

館長 野口周一

中村紀久二氏という教科書史を専攻される方には、『教科書物語—国家と教科書と民衆—』(ノーベル書房、1970年)、『教科書の社会史』(岩波書店、1992年)という著作がある。氏は、この『教科書物語』の「序章」を、高崎市立中央小学校6年生児童の「科学者と私」と題する作文の引用から筆を起している。その作文が収録されている書物が、『伝記書の指導と分析』(全国学校図書館協議会、1960年)なのである。

さて、エドワード・ジェンナー(1794-1823)という種痘法を開発したイギリスの医学者がいた。中村氏は「ジェンナーの牛痘接種の実験は『まず自分の子どもにした』—これはほとんどすべての大人達の常識である」と述べ、それは最初の国定修身教科書(1904年)から『初等科修身』(1943年)にいたるまで、そのように記されているのである。ところで、実は「自分の子ども」ではなく、「ジェンナーが実験用に買った子ども、或いは孤児か浮浪児の可能性もある」と氏は述べ、かつジェンナー伝記教材にみる歪曲過程を論証し

たのであった。しかし、私はその教科書では学んでいないにも拘わらず、その逸話は私の脳裏に焼き付いているのである。なぜ、そのようなことが起こるのであろうか。

私たちは教科書を通して多くのことを学習し、その理解を常識として生活していく。その結果、いわば「国民的常識」として誤解を含むまま現在にまで受け継がれている事項もあるのだ。私は前掲『伝記書の指導と分析』所収の第3章「教科書に取り上げられた人物」の分析から、先生方の研究を立派なものとして評価している。そのようなことをも紹介しつつ、私は「歴史におけるイメージの形成」という論文を執筆した(『メディア研究放送芸術学』第17号、日本放送芸術学会、2001年)。そして、母校に敬意を表して、それを校長先生宛に送ったものの、受け取りの返事もなかった。日本の郵便事情から届かなかったことはありえない。私は、この論文を含めた一書を刊行するときには、その校長のお名前を明らかにしておきたい——そんな大人げないことを考えている。

H26 年度 開館日カレンダー

April

Sun	Mon	Tue	Wed	Thu	Fri	Sat
		1	2	3	4	5
6	7	8	9	10	11	12
13	14	15	16	17	18	19
20	21	22	23	24	25	26
27	28	29	30			

October

Sun	Mon	Tue	Wed	Thu	Fri	Sat
			1	2	3	4
5	6	7	8	9	10	11
12	13	14	15	16	17	18
19	20	21	22	23	24	25
26	27	28	29	30	31	

May

Sun	Mon	Tue	Wed	Thu	Fri	Sat
				1	2	3
4	5	6	7	8	9	10
11	12	13	14	15	16	17
18	19	20	21	22	23	24
25	26	27	28	29	30	31

November

Sun	Mon	Tue	Wed	Thu	Fri	Sat
						1
2	3	4	5	6	7	8
9	10	11	12	13	14	15
16	17	18	19	20	21	22
23	24	25	26	27	28	29
30						

June

Sun	Mon	Tue	Wed	Thu	Fri	Sat
1	2	3	4	5	6	7
8	9	10	11	12	13	14
15	16	17	18	19	20	21
22	23	24	25	26	27	28
29	30					

December

Sun	Mon	Tue	Wed	Thu	Fri	Sat
	1	2	3	4	5	6
7	8	9	10	11	12	13
14	15	16	17	18	19	20
21	22	23	24	25	26	27
28	29	30	31			

July

Sun	Mon	Tue	Wed	Thu	Fri	Sat
		1	2	3	4	5
6	7	8	9	10	11	12
13	14	15	16	17	18	19
20	21	22	23	24	25	26
27	28	29	30	31		

January

Sun	Mon	Tue	Wed	Thu	Fri	Sat
				1	2	3
4	5	6	7	8	9	10
11	12	13	14	15	16	17
18	19	20	21	22	23	24
25	26	27	28	29	30	31

August

Sun	Mon	Tue	Wed	Thu	Fri	Sat
					1	2
3	4	5	6	7	8	9
10	11	12	13	14	15	16
17	18	19	20	21	22	23
24	25	26	27	28	29	30
31						

February

Sun	Mon	Tue	Wed	Thu	Fri	Sat
1	2	3	4	5	6	7
8	9	10	11	12	13	14
15	16	17	18	19	20	21
22	23	24	25	26	27	28

September

Sun	Mon	Tue	Wed	Thu	Fri	Sat
	1	2	3	4	5	6
7	8	9	10	11	12	13
14	15	16	17	18	19	20
21	22	23	24	25	26	27
28	29	30				

March

Sun	Mon	Tue	Wed	Thu	Fri	Sat
1	2	3	4	5	6	7
8	9	10	11	12	13	14
15	16	17	18	19	20	21
22	23	24	25	26	27	28
29	30	31				

◇ 通常開館日

	月-金	9:00 - 18:30
	土	9:00 - 13:00

◇ 短縮開館日

	月-金	9:00 - 17:00
	土	9:00 - 12:00

◇ 休館日

日曜、祝日、大学の定める休業日